

## ライフコーダ運用時のご注意

本資料は、研究や指導でライフコーダを測定者に貸出運用される場合に、データ計測をより確実にするために実施していただきたい内容を記載した資料です。

### 1 ライフコーダの確認事項

ライフコーダ運用時は、「ライフコーダの貸出前」または「データ通信時」に、以下のことをご確認ください。

内容は計測不具合を少なくするために目視で確認できる不具合予防対策です。

#### ■ 外観の確認

外観にヒビや亀裂がないか確認してください。

防滴ゴムパッキーの外れや紛失がないか確認してください。

→ 外観にヒビや亀裂ができた場合は修理をご検討ください。

(修理は交換修理となります。)

→ 防滴ゴムパッキーの外れや紛失があった場合は修理にお出してください。

筐体の間に防滴ゴムパッキーがあります。



#### ■ 電池マークの確認

液晶上に電池マークが点灯されていないかを確認してください。電池マークが点灯している場合は必ず電池を交換してください。電池は電池マークが点灯していなくても早めに交換していただくことを推奨します。(電池マーク点灯後の電池寿命は気温により異なりますが1～2週間程度です。)

(電池のご使用については「2 ご使用上のご注意」もご参照ください。)

#### ■ 歩数カウントの確認

ライフコーダを軽く振り歩数がカウントするかどうか確認してください。

→ 歩数カウントしない場合はご使用を止めて修理にお出してください。

#### ■ 水没マーカの確認

電池フタを外して水没マーカを確認してください。

(水の中に落しても水没マーカが濡れない場合はマーカの色は変化しませんので、すべての水没が分るわけではありません。)

→ 水没している場合はご使用を止めて修理をご検討ください。(修理は交換修理となります。)

#### ■ 水没マーカの確認方法(GS・PLUSの場合)



#### ■ データ通信の確認

ライフコーダ返却時にはデータ通信を実施して、通信ができるか確認してください。

→ 他のライフコーダは通信できるが一部のライフコーダのみ通信できない場合は修理にお出してください。その時、「データ抽出が必要」と依頼してください。(データ抽出ができない場合もあります。)

→ 複数のライフコーダが通信できない場合は、ソフトウェアの問題となります。Windows OSの変更やパソコンを変更された場合は、ライフコーダサポートサイトから最新版をダウンロードして、最新バージョンにて再度通信を実施してください。インストールは必ずダウンロードページの記載内容と添付資料をご確認のうえ実施してください。

最新版へのバージョンアップは弊社のサポート期間内製品のみですのでご了承ください。

ライフコーダサポートサイト:

<http://www.suzuken.co.jp/product/healthcare/support.html>

## 2 ご使用上のご注意

ライフコーダをご使用の時は以下のことをご注意ください。

### (ア) 電池寿命による計測中断の予防対策

- 国内メーカー・国内製造で、製造年月日が新しい電池をご使用ください。
- 電池は絶対にショートさせないでください。(金属や電池同士での接触をしないようにしてください。)
- 電池を挿入した後でライフコーダを寒いところに放置しないでください。
- 電池の使い回し(一度抜いた電池を保管して再度挿入して使用)は推奨いたしません。

ライフコーダはコイン型リチウム電池 CR2032 を使用しています。この電池は以下のような特性がありますのでご注意ください。

- ◆ ショートにより電圧低下がおこります。電圧低下が激しい場合は機器が動作しない場合もあります。
- ◆ 粗悪な電池や古い電池は、電池内部の内部抵抗が高くなり電圧低下が早くおこります。
- ◆ 電池は低温状態に弱い為、冬季は特に電圧低下を起こしやすくなり、他の季節に比べて計測期間が短くなります。(気温が極端に低下した場合は機器動作電圧を維持できずに機器が停止する場合があります。)

電圧低下が起こるとライフコーダの計測期間が短くなったり、計測が中断してしまうことがありますのでご注意ください。

ライフコーダに記載されている電池寿命は 25°Cの動作環境によるものです。そのため、電池は早めに交換してください。冬季は必ず早めに電池交換してください。

### (イ) 落下防止対策

- 落下防止クリップは必ず装着してください。

(ウ) 水没対策(洗濯や水の中にライフコーダを落とすことの予防)

- 落下防止クリップは必ず装着してください。
- 貸出時には「落下防止クリップは必ず装着してください」、「ズボンと一緒に洗濯しないように注意してください」との2点を説明してください。
  - \* 研究や指導の先生方が、「私たちには、ライフコーダのデータが必要なため、水に落したり洗濯したりしないようにお願いします。」と注意ではなくお願いの形式で一言付け加えるとより効果があるようです。

(エ) 汗による故障の予防対策

- 一番内側に着る服(体に密着しているシャツ)の内にライフコーダを装着しないでください。
- 電池フタ, USB コネクターカバーは確実に閉めてください。

運動中に服が汗でビショビショになった状態と体の発熱により、汗が水蒸気となって機器の中に挿入します。また、サウナスーツのような服の内に装着しても同じようになります。  
水蒸気が侵入した場合は、徐々に電子回路に悪影響をおよぼし、最終的には水没と同じように機器の故障につながります。)

(オ) その他のご注意

- 導電性の鉛筆やシャープペンなどでリセットボタンを押さないでください。爪楊枝や精密ドライバーなどをご使用ください。

ボールペンなどの使用でもインクが内部に入ってしまう動作不良の原因となる場合があります。